

連携先	Amazon Aurora / Oracle Exadata	利用シーン	ETL、内製化、マイグレーション	業種	サービス業
-----	--------------------------------	-------	------------------	----	-------



## ASTERIA Warp、Amazon Aurora採用で中古車情報Web掲載の高速化、スケーラビリティの向上を実現

株式会社プロトコーポレーション

愛知県名古屋市中区葵1-23-14 プロト葵ビル  
 URL <http://www.proto-g.co.jp/>  
 従業員数 825名 (2017年4月1日現在)

### 導入背景

株式会社プロトコーポレーションは、自動車関連・生活関連の情報を提供する情報サービス企業。クライアントである中古車販売店が中古車物件情報を登録すると、その情報が業界屈指のクルマ・ポータルサイト「グーネット」で掲載され、ユーザに告知される。しかし、これらのシステムはスクラッチ開発、その後改修を繰り返しながら利用しているため、属人化、複雑化が深刻化していた。また中古車販売店から「グーネット」への即時掲載要求が高まる中、データ加工、登録、反映に時間がかかりピーク時には掲載までの時間が延びるなどサービスレベルにムラが生じていた。

### 課題

- 物件登録が刻々に集中。ピーク時にはDB書き込み待ちが発生し、中古車情報Webサイトへの反映に遅れが発生。
- 自動車機能の進化に伴い現状の登録項目が今後3年間で倍となる見込み。これによりさらなるアクセス負荷の予測。
- Web検索項目が急増する中、Web検索スピード向上が不可欠。

### 導入

- スクラッチで開発していたデータ変換、クレンジング処理をASTERIA Warpで新たに開発した200フローに置き換え。
- Amazon AuroraへのDB移行計画を見据え、ASTERIA Warpによる新システムを全てAWS上に構築。AWS上で一括運用。
- ASTERIA Warpを利用しPostgreSQLからAmazon Auroraにデータ移行。

### 効果

- ASTERIA Warpの並列処理機能により8スレッド同時書き込みを行うことで性能を高め5分おきの確実な差分更新を実現。
- 項目追加に伴う開発期間を1/5以下に短縮。
- ASTERIA Warpを利用することで開発経験のない運用オペレーターでも開発/メンテナンスが可能となり、開発担当と運用担当者が連携して協力するDevOpsを実現。
- 100%内製化を実現。200フローをオペレーターを含む3名で6ヶ月以内に開発。

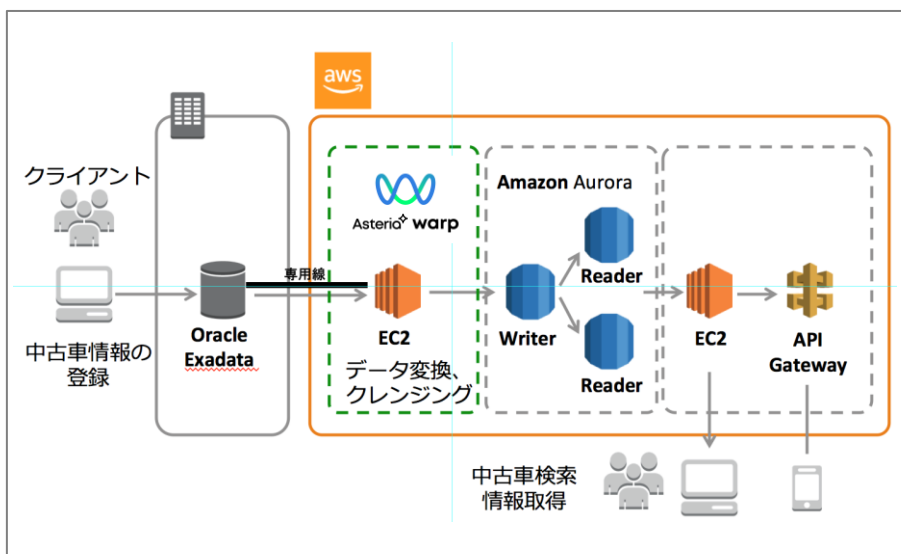
### ASTERIA Warp選定理由

- ETL製品4製品のベンチマークテストで他製品に比べ8倍の高パフォーマンス。
- 並列処理機能による、さらなるパフォーマンス向上の実現
- ASTERIA Warpマスターパートナーであるパナソニック インフォメーションシステムズ株式会社のサポートの満足度

### 今後の予定

- Amazon AuroraとASTERIA Warpを利用し、さらなる高パフォーマンス、低コスト運用、高拡張性のシステムを実現。
- ASTERIA WarpとAmazon Auroraを利用した同様の仕組みを社内全事業に横展開。
- 社内に散在するDBをデータ統合。その際のデータ移行ツールとしてもASTERIA Warpを利用予定。

### システム構成図



### お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!



ITソリューション1部  
主任  
張博様

ASTERIA Warpは操作性がよく開発経験のないオペレーター職の方でもフロー作成ができます。またSQL文を直接書き込むこともできるため、DBAなどの専門職にも煩わしさを感じさせないツールです。

ASTERIA WarpとAmazon Auroraの採用により監視業務や障害対応の負荷削減が実現できますので、浮いたオペレータ工数を開発にシフトさせるなど、DevOps (デブ・オプス) を促進し、新規開発にうまく人員シフトできるようにしていきたいと考えています。